



総合学科の創造性 地域の力に
に し め
新志芽通信

No.029
(令和7年度最終号)

令和8年3月17日
秋田県立西目高等学校

《1年生 産業社会と人間》 ライフプラン発表会 【3月10日(火)】

本校の特徴である「総合学科」では、1年次の「産業社会と人間」の授業で、自己分析と自己理解、社会や職業などについて学びます。それをふまえて、「これから自分はどう生きていくか」を考えるために、「マイライフプラン」を作成します。高校1年生という、その後の努力によっていくらでも未来を変えられる学年で、人生をじっくり考えることができるということで、とても貴重な時間となっています。今回は、クラスでの発表会で選ばれた代表5名ずつ、計15名が学年全員に向けて発表を行いました。それぞれがしっかりと自分の考えをまとめ、これまでに学んだこと、今後の夢や目標について話してくれました。ここでは3名の生徒の発表を紹介します。ぜひじっくり読んでみてください。



「食と笑顔の未来図」

1年1組 佐々木舞

私の将来の夢は「管理栄養士」という専門職を通じて、関わる全ての人を笑顔にできる大人になることです。また、私は病院や福祉施設、食品開発などの現場で一人ひとりの健康を支えるだけでなく食べる喜びそのものを守る人になりたいです。専門知識を身に付け「体」を元気にし、心のこもったコミュニケーションで「心」を笑顔にする。そんな食の力を最大限に引き出せる温かな大人を目指しています。

私がこの夢をもち始めたきっかけは自宅で行った職業適性診断でした。そこで「管理栄養士」という結果が出て自分では気づかなかった意外な適性に驚いたけれど、自分の好きな「食」とつながっていてワクワクしました。そこから興味をもち始め、詳しく調べていくうちに、テレビで見た食品メーカーの特集が強く印象に残りました。新商品の開発に携わる管理栄養士の方が、人々の健康と美味しさを両立させようと奮闘する姿がとても輝いて見え、「私もこんな風にかっこよく働きたい」と思いました。

夢の実現に向けて、今の私が高校生活で最も力を入れているのは日々の学習です。特に英語と数学は苦手意識が強いですが、管理栄養士になるという目標を考えると避けては通れない大事な基礎だと考えています。例えば、栄養素の計算やデータの読み取りには数学的な思考が必要です。また将来、最新の栄養学を学びに海外へ行くときには現地の人との交流をするため英語でのコミュニケーションが不可欠になります。「苦手だから」と諦めるのではなく、分からないところは先生に聞いたり、単語帳を毎日開いたり小さな積み重ねを大切にしています。今の苦労が

将来の職につながると信じ、一歩ずつ着実に進むことを意識しながら生活していきます。

高校卒業後は、秋田聖霊女子短期大学の生活科学科、そしてその先の専攻科健康栄養専攻へ進学したいと考えています。なぜそこに行きたいかという地元食文化を大切にしている点に惹かれたからです。また、一日も早く専門的な知識を身に付け、現場に出て実務経験を積み上げたいという強い意志があるというのも理由の一つです。短大では栄養学の講義や調理実習に熱心に取り組むことはもちろん、同じ夢を持つ仲間や先生方との人付き合いも大切にしていきたいです。現場では様々な職種の人がチームになって働いているので今のうちからコミュニケーション能力を磨いて、信頼関係を築く力を養いたいと思います。



無事に管理栄養士の資格を手にすることができたら、私の身近にある「有名な食品メーカー」に就職し、新しい商品を生み出す仕事に挑戦したいです。病院や福祉施設で一人ひとりに向き合う仕事も素敵ですが、私はスーパーやコンビニに並ぶ商品を通して、もっと沢山の人を笑顔にしたいという大きな夢があります。テレビで見た開発部の人たちが、何度も試作を繰り返しながら美味しく体に良い商品をだそうと頑張っている姿は本当にかっこよく見えました。だから将来は自分が携わった商品で、全国の誰かの食卓を明るく彩っていければいいなと考えています。

仕事と同じくらい私が大切にしたいのは、世界や日本の「食」を自分の目で見て回ることです。まず短大を卒業するまでに、英語を日常会話レベルまで話せるようにしたいです。英語ができれば、将来海外へ行ったときも現地の人とおすすめの食材について語り合えますし、海外の最新の栄養学を学ぶのにも役立つはずだからです。そして30歳までには、一生かけて日本の47都道府県を全部回ることも私の大きな目標です。各地の郷土料理を食べたり、その土地ならではの健康法を知ったりして、管理栄養士としての引き出しを増やしながら、一度きりの人生を全力で楽しみたいと思っています。

最後に、私は仕事だけでなく、笑顔の絶えない温かい家庭を築くことも人生の目標にしています。管理栄養士として身につけた知識を活かして家族の健康を守り、毎日栄養満点の美味しいご飯を作ってあげたいです。マイライフプランを通して自分の進むべき道がはっきり見えました。将来、迷うことがあってもこの初心を忘れず、人を笑顔にするために努力し続け、自分らしい豊かな人生を歩んでいきたいです。

食と笑顔の未来図：管理栄養士へのロードマップ

夢の土台：学びと準備のフェーズ



目指す姿：心身を磨く管理栄養士
専門知識「食」を習得し、
豊かな笑顔で「心」を笑顔にする。



秋田聖霊女子短期大学の専門教育
地域の食文化や食の歴史を学ぶための
実習経験と知識を習得する。



苦手克服：数学と英語の基礎固め
学習計画を立てる学習習慣と、
最新栄養学を学ぶための英語力を磨く。

広がる未来：キャリアと豊かな人生



食品メーカーでの商品開発
健康と美味しさを両立した商品を生み出し、
全国の食卓を明るく彩る。



30歳までに47都道府県を制覇
各地の郷土料理や健康法を体験し、
専門職としての引き出しを増やす。



笑顔の絶えない温かい家庭
培った知識を活かして家族の健康を守り、
毎日栄養満点の食事を作る。

「私のライフプラン」

1年2組 梁瀬 颯

私の目標は、全国高校サッカー選手権大会に出場し活躍することです。まず将来を考えるきっかけになったこの目標について具体的に考えるようになったのは、中学生のときに所属していたクラブチームの仲良くしてくれたり個別でよく練習や試合のあとに色々教えてくれた先輩が、卒業したあと、県代表として試合に出場しテレビに出ていることや勉強も両立していること、周りの人達への関わり方、人間性など見てかっこいいと思い、憧れたからです。そこから家族やたくさんの大人、友達などと話し合って様々な学校に行ってみたりし、秋田の西目高校に入学して頑張ることを決めました。将来の夢であるサッカー選手を目指すために、この親元を離れた貴重な高校3年間で、不便なこともたくさんあると思うけど、たくさんの経験を得たことを大切にしたいと思います。



高校1年生としての今の生活はいろいろな面で慣れないことがたくさんあって大変でしたが、中学校生活との大きな違いは基本的な生活を自分でしていく自立や充実度だと思います。中学生の時は平日も休日も毎日のように、時間をお願いして起こしてもらって起床や温かい朝ごはんをだしてもらったり、お昼ごはんやおやつとしてパンケーキを作ってもらったりするなどの食事面で家族を頼っていて、自分では体調や生活習慣をすごく気にかけていたりするわけではありませんでした。しかし、体調管理の徹底をすること重要性の実感や、まだ料理は

したことはないけど、土日にスーパーに行ったり、自炊の予定を考えたりと少しずつだけど最近慣れ始めてからは段々と自立できているのかなと感じるようになりました。充実度の部分では、自分の自由な時間が増え、遊んだりできる分、門限などを気にする自己管理が必要になりました。困ったときにすぐに家族に頼れたり、支えてもらっていたけど、今は1人で判断する場面が増えたりで家族のありがたみを実感しています。

下宿という共同生活で身についた力は、将来の夢に限らず大人になるうえでたくさんのことに生きたり、絶対に役に立つと思うので、悔いがないよう、今のうちにいろいろな体験や経験を積極的になるべく自分からしていきたいと思います。

産業社会と人間の時間では、自分を知るための系列選択ガイダンスやエゴグラム、職業適性検査などの体験や授業でわかっている気はしていたけど、気付かなかった部分や初めて知ることがありました。職業を知るための農業体験教室や卒業生講話、企業見学ツアーなどで中学の時にはわからなかった本格的なことを学ぶことができました。

どんな生き方をするかや、やりたいことは今と将来で変わると思うけど、それまで支えてくれた人たちに恩返しをしたいし、夢を達成して楽しく幸せに生きていきたいというのが、あまり具体的ではないけど今の1番の目標です。今までもこれからも、すごく多くのお世話になると思うし、簡単ではないこととはわかっていますが、頑張っで挑戦し続けてみたいと思います。どんな将来になっても、1つのことに夢中になり、努力できることを忘れず、人間として成長し続けていけたらいいなと思います。



高校卒業後はサッカーを高いレベルで続けられる環境に進学し、実力を伸ばしていけるように、今から目標を細かく設定して、周りの人の力も頼ったりして考えていきます。

将来、理想のような人生となかなか近くないということになっても、コミュニケーション能力は高くないけど、人との関わりや感謝の気持ちなど当たり前のことを徹底して生活していきたいし、それができることもすごいことだと思うので、いつまでも初心を忘れないようにしたいです。秋田まで来させてもらって挑戦できる目標の選手権に出場し、活躍する姿を見せるという、高校での目標のために日々の部活や日頃からの学校生活、下宿生活を、様々な経験や体験をしたり、悩んだりして大切に過ごしていきたいと思います。



この機会がなかったら、ここまで真剣に自分の将来について考えることはなかったと思うので、1年生というはやい段階から真剣に考える事ができて良かった。

色んな人の話を聞いて、それぞれの大事にしていることや持っている夢について知ることができました。中には、共感できることがいくつもありました。自分は、自信をもって発表することは難しかったけど、今思っていることは全部話せました。

みんなが、入学当初の心境と、産社の授業や色々な体験をしてきた今を比べて、自分の思ったところや考えの変化などを具体的に将来の目標と結んでいてよかったと思った。

自分の将来の人生像を考えるのはとても大変だった。自分はそんなに希望がなかったけど、この時間を通してこんなにやりたいことややりたいことがあるんだなと実感しました。この願いが叶うようにこれからも頑張りたい。

みんなそれぞれのマイライフプランを一生懸命話していて、夢を叶えたいという気持ちがたくさん伝わった。自分にもたくさんの夢や目標、課題があるので一日一日を大切に生きていきたい。

発表会を振り返り、それぞれの目標があり、それを達成するための努力の仕方やこれから頑張りたいことなど参考になる部分がたくさんあった。その中で、みんなが共通して、礼儀のことや、社会の土台を作りたいということも思っていて、自分も、もっと頑張っで夢や目標を叶えられるようになりたいと思えた。

みんな緊張しながらも大きい声で伝えるように発表していて良かったと思います。自分なりの将来のプランを上手に言葉でまとめられていました。

発表では、自分の全く知らない分野の職業を目指している友達の発表を聞くことができました。初めて知ったこの人はこれになりたいんだなどの新しい発見も多くあって、とても聞いていておもしろかったです。自分の発表はみんなに伝えようという思いで自分の考えをはっきりと言うことができました。

「私の人生」

1年3組 安倍悠乃

私の将来の夢は、看護師です。

私が看護師になりたいと思った理由は、幼少期に体が弱く、入退院を繰り返していた経験があるからです。何度も痛い注射を受けたり、苦い薬を飲んだりしていたため、当時の私にとって病院はとても怖く、行きたくない場所でした。入院するたびに強い不安を感じていたことを今でも覚えていますが、しかし、そんな時に会った看護師さんが、私の不安が少しでも和らぐようにと、定期的に病室へ来て話し相手になってくれたり、「頑張ったね」と優しく声をかけてくれました。そのおかげで、次第に不安は薄れ、病院は怖いだけの場所ではないのだと思えるようになりました。この経験から、私も人の不安に寄り添い、安心を与えられるような看護師になりたいと思うようになりました。また、これまで勉強や悩み事、ダンスのことで、両親や友達、先生をはじめとする多くの人に支えられ、助けてもらってきました。いつも私のことを考え、寄り添ってくれた人たちの存在があったからこそ、今の私があると思っています。だからこそ、次は私が多くの人を支え、力になれる存在になりたいと考え看護師を目指すようになりました。

その夢を叶えるために、残りの2年間この西目高校の文理系列で勉強し、看護学校に入学をして看護の知識を学びたいと考えています。看護師になりたいという夢は高校入学当初から変わっていません。ですが、卒業後の進学先として第一希望に上げていた由利本荘市の看護学校が、2027年で入学生の募集を停止してしまうということでも悩みました。ですが、親や先生などのアドバイスで今は秋田市や県外という選択の幅が広がり、自分に合った学校に行けたらいいなと思っています。



分の子どもを大切な思い出の場所へ連れて行ってあげられる親になりたいです。家族で過ごす時間を大切に、笑顔や楽しい思い出と一緒に積み重ねていける存在でありたいです。両親がディズニーに連れて行ってくれた時間は、私にとって特別な思い出であり、忙しい日々の中でも家族の温かさを感じられる大切な時間です。その経験があったからこそ、将来は私も同じように、家族との時間を大切にできる親になりたいと思うようになりました。

これまで多くの人に支えられてきたことへの感謝の気持ちを忘れず、高校生という今しかない限られた時間を大切に過ごしていきたいです。勉強に励むだけでなく、友達や家族との時間を通してたくさんの思い出を作り、人として成長していくことが将来の自分につながると考えています。これからも目標に向かって努力を重ね、誰かの支えとなれる存在になれるよう前向きに取り組んでいきたいです。

「将来の生活」

1年1組 土橋 潤也

私は、高校に入る前までは、自分の将来や自分のしたいことを何も考えずに生活していました。小学校の頃のプリントや親などに将来の仕事などを聞かれても適当に書いていたし、全然将来のことなんて考えてもなかったし、中学校に入ってからでも考えていませんでした。でも、小学校とは違い進路のことや将来のことを考えることが増えてきました。なので、高校のことや将来のことを真剣に考えました。けど結局、高校のことや将来のこと何も決まりませんでした。それで親に相談したり先生に相談したりしていくうちに高校のこともわかってきて、西目高校は、総合学科でいろいろな分野のことが学べると思ったし、そのなかでも農業に少し興味をもったことで、西目高校に行くことを決めました。そして西目高校に入学しました。



西目高校に入ってすぐたくさんのことが変わりました。まず一つは、いろいろな場所から色々な人が来て一緒に生活していくということです。私は、話しかけることが苦手で、友だちができるか心配でした。でも今の友達が話しかけてきてくれて、学校を楽しく生活していくことができているけど、大人になって社会に出たら人と関わることが増えると思うので、高校のうちから沢山のひと話したり関わったりしておいて、社会に出て人と関わる練習をしておきたいです。2つ目は、授業の種類です。西目高校は、総合学科で5つの系列から自分が学びたい勉強を受けることができ、その中でも僕は農業に興味をもちました。そこで農業の先生方に出会って考え方や生活の仕方が変わりました。まず先生の話で、自分の長所、自分の短所を知ることが大切と言う話がありました。確かに自分のことを知らないと何も行動ができないし、自分の意志で行動することができないと思ったので、自分のしたいことややらないといけないことを知ることがすごく大事だと思いました。それに将来になにか迷ったり、悩んだりしたときに自分の長所や短所を知っておくと選択しやすくなるし、スムーズに進めることができると思ったからです。

未来への歩み：誰かを支える看護師への道

夢の原点と目指す姿

不安に寄り添う看護師への志
知少量の入院時に優しく接してくれた看護科の先輩の姿が夢の原点です。

支えられる側から支える側へ
両親や先生、友人に支えられた経験を通じて、次は自分が人を支える存在を目指します。

理想の人物像：信頼と共感
相手の立場に立って考え、困っている人に適切な手を差し伸べ、心の人を目指します。

夢を実現するためのロードマップ

- 定期テスト：80点以上をキープする
- 授業の理解：理解率を高め、授業内容を定着させる
- 授業の姿勢：授業中は積極的に発言し、疑問点を解消する

高校生活での学習と成長
文部科学省の学習を参考に、看護学校進学に向けて全教科70点以上を目指します。

今しかできない経験を大切に
勉強だけでなく、友人との会話や行事など一瞬一瞬を大切に楽しみます。

将来の家族への想い

自身が困難に連れて行ってしまった場合は、家族のサポートを大切にすることを目標とします。

そのため、偏差値の高い学校もあるので、西目高校での学習を大切にしたいと思っています。定期テストでは、すべての教科で70点以上を取り、提出物や課題をきちんと期限内に出して平常点を上げたいです。一つひとつの授業に対して真剣に取り組む、苦手な教科はわからないままにしないで周りや先生に聞くようにしていきたいです。

他にも、高校生活は今しか経験することのできない、かけがえのない時間だと思っています。残り2年間という長いようで短い限られた時間の中で、勉強に励むことはもちろん大切ですが、それだけでなく、友達と過ごす日々や何気ない会話、行事など、一つ一つの瞬間を大切にしたいと考えています。時間は決して無限ではなく、高校生として過ごせる時間には限りがあるからこそ、その一瞬一瞬を無駄にせず、全力で取り組み、全力で楽しむことが大切だと思います。そうして積み重ねた経験や思い出は、将来振り返ったときに、自分を支えてくれる大切な宝物になると感じています。なので友達や学年の人との時間と思い出を大切にしたいです。

私は将来、周囲の人から信頼され、困っている人に自然と手を差し伸べることができる人になりたいと考えています。一人一人の気持ちに寄り添い、相手の立場に立って物事を考えられる人でありたいです。他にも、私はこの16年の人生において20回以上ディズニーに行っています。それは、仕事や、兄弟のクラブチームのことで忙しいはずなのに、両親が毎年のように連れて行ってくださっているからです。そのことから、私も自

土橋潤也のマイライフプラン：農業への挑戦と成長の軌跡

無計画だった中学時代を経て、西目高校での出会いを通じ農業への道を見出した土橋君の成長記録。自己理解、資格への挑戦、そして大学進学と農業分野での就業を見据えた具体的なライフプランをまとめたものです。

高校時代の自己変革と挑戦

- 「総合学科」での農業との出会い
西目高校の総合学科で学び、自分の長所と短所を知る重要性を実感した。
- 苦手を克服する「挑戦」の姿勢
英語、漢字の取得や意見発表大会へ挑戦し、選択の幅を広げる。
- コミュニケーション力の育成
社会に出てから困らないよう、高校のうちから多様な人と関わる練習をする。

未来への展望とブロード意識

- 秋田県立大学の進学
生物資源科学部で、より専門的な農業の知識と経験を学ぶ。
- 農業のやりがいと自己成長
収穫の喜びや消費者の笑顔を通して、自分自身も成長できる職業と定意。
- 「1手2手先」を読む行動指針
環境に左右される農業において、先を察知して行動する姿勢を大切にしたい。

社会人としての行動指針

- メモをしっかりと取る
最初から細かいことだらけなので、知識を確実に定着させるため。
- 先輩の話をよく聞く
経験者から学び、仕事のミスや失敗を防ぐため。
- 体調管理と安全管理
農作業や天候の影響を受ける仕事で、怪我や体調不良を回避するため。

私は、高校に入る前に1つ頑張ろうと思っていたことがあります。それが挑戦することです。今まで私は挑戦して失敗したらどうしようと考え、挑戦することが少なかったです。でもいろいろなことに挑戦すると選択の幅が広がるし、いろいろな場面で役立つと思ったからです。今挑戦したいことは、英検や漢検などの資格取得と農業の意見発表大会という大会に挑戦したいと思っています。そのためにも日々の勉強や情報集めなどをしていきたいです。

僕は、農業系列に入って将来農業関係の仕事に就こうと思いました。それに農業のことをもっと知りたいと思ったし、将来のことを考えても大学に行っても損はないと思いました。それに大学に入っているいろいろなことに挑戦したいと思ったので、私は秋田県立大学の生物資源科学部に入りたいと思っています。将来農業系の仕事には就きたいと思っているけど、まだ具体的にははっきりは決まっていなくて、大学に通いながらいろいろな農業の仕事をもっと詳しく知って決めていきたいと思っています。農業という仕事は大変だと思うし、難しいし、すごく沢山の知識が必要な仕事だと思います。けど、その分作物ができたときの嬉しさや達成感、その作物を美味しく食べてくれる消費者など、大変なことより嬉しい気持ちになることがたくさんある仕事だと思います。それに、農産物を育てるだけでなく自分のことも成長させることができると思ったから、僕は、農業に関わる仕事に就きたいと思いました。私は仕事を始めたらず先輩などの話を良く聞き、メモをしっかりと取ることが大切だと思います。最初はわからないことだらけですごく大変だと思うし、新しい知識などがたくさん出てくると知ったので、1番はじめのどれだけ頑張るかが最初は大事だと思います。

僕が高校に入って産社の授業や講話などで聞いて、将来のことを考えた時、一番大切にしていきたいことは、1手2手先のことを考えて行動することです。大人になったら子供と違ってミスや失敗で大変なことになることが多いと思います。それに農業の仕事は、天気や季節などの環境によって左右される仕事なので、先のことを考えて行動しないと失敗したり怪我や体調不良になってしまうかもしれないので大事にしていきたいです。

私がマイライフプランを書いてみて、高校を卒業しても人生は続いていくので、やっぱり将来について考えることは大切だと思ったし、高校で習ったことなどは絶対に将来大人になって社会に出ても必要になることがあると思ったので、1年生の今からそのことを意識して高校生活を送ってきたいです。

「なりたい自分を目指して」

1年2組 木内 美桜



私は将来、動物関係の仕事についてトリマーになりたいと考えています。トリマーになりたいと思った理由は2つあります。

1つ目は母が動物の専門学校を勧めたからです。冬休み中に進路の話をもととしたところ、「動物に関わる仕事が含まれるんじゃないかな」とペットの専門学校へ進学することを提案してくれました。そこから動物関係の仕事に興味を持ち、進学してみたい、挑戦したいと思うようになりました。

2つ目は生まれてからずっと動物と関わってきたからです。家で飼っている犬と遊んだり、近所の猫と触れ合ったりすることが、私にとって小さい頃からの楽しみであり、幸せな瞬間です。だからこそ、恩返しではありませんが少しでも動物やその飼い主に笑顔になってほしい、幸せな瞬間を作る手伝いがしたいと考えました。動物と関わる喜びや嬉しさを私自身知っているからこそトリマーという仕事につきたいという思いがより一層強くなりました。

なりたい自分を目指して：トリマーへのライフプラン



私は入学当初、卒業したらすぐに就職すればいいと適当に考えていました。そのときは進学という考えが自分の中に無く、自分は何をしたいのか、どんな将来を送りたいかが分からずにいました。先生への相談や親との話し合いを通して、自分のやりたいこと、やってみたいことが分かったと思います。私には毎日を充実したものにしたいという人生の目標があります。だからこそ専門学校へ通い、勤めたい職場に入社して、生き方の視野を広げていきたいと考えています。

さまざまな目標を達成するために私が今後大切にしていきたいことも2つあります。

1つ目は学校生活の中でルールやマナーを守ることです。これらのことは社会生活をしていくうえで、最も重要になってくると考えています。社会人になったときにルールやマナーを守れないと会社全体の信用問題に関わったり、人としての評価が下がってしまいます。提出期限・時間を守る、挨拶をするなどはどこにいても当たり前でできていないといけなないので、これからも継続したいです。

2つ目は人からの信頼や感謝を大切にすることです。私が目指すトリマーという職業は、お客様の大切な家族であるペットを預かり、きれいにすることが一番の役目です。そのため同じ職場のスタッフはもちろん、お客様からの信頼を無下にしないようにしたいです。また、自分にペットのトリミングを任せてくれたお客様に感謝し、きれいにされたペットを見て、感謝されるような人になりたいです。

入学するまで、私には進学する・秋田を離れるという考えはなく、自分の将来を想像することが難しかったです。それでも今は進学したいという思いが私の人生の中で一つの大きな目標となっています。私が進学を希望しているのは、宮城県仙台市にある「仙台総合ペット専門学校」です。充実した環境や設備、高い資格取得率に惹かれ、私もここで学んでみたいと思うようになりました。地元を離れて一人で生活すること、すべてを自分で考えて行動しなければいけないことに不安を感じることもあります。しかし、その不安は新しい環境に挑戦し、自分自身を成長させるために必要な過程とも考えています。私のやりたいことを理解し、進学することを応援してくれている両親の存在はとても大きく、心の支えになっています。私が進路のことで悩んでいるときも「進学するなら本格的に学べる、設備の整った学校の方が良い」と、両親が宮城への進学を後押ししてくれました。感謝の気持ちを忘れず、自立した大人に成長することでその期待に応えたいと思いました。

私の目標はお客様に信頼され、またこの人に任せたいと思われるようなトリマーになることです。そのために、これからはより責任感を持った行動をし、学業にも熱心に取り組みたいです。このライフプランを実現させるため、辛いことや苦しいことから逃げず、どんなときでも努力し続ける人になりたいです。

これから頑張ろうと思っていることは、今回発表した内容を、口だけにして終わるのではなく、行動に移して実現することを頑張っていきたいです。